

# 2019年度第2四半期決算概要 及び2019年度業績予想

---

2019/11/1

 住友重機械工業株式会社  
社長 下村 真司

## INDEX

**01** 2019年度第2四半期決算概要

**02** 2019年度業績予想

**03** 「中期経営計画2019」進捗

# 01 2019年度第2四半期決算概要

# 01 2019年度 第2四半期業績サマリー

## ■ ポイント

### (1) 受注高

- ・前年同期比△9%減少。
- ・機械コンポーネント、精密機械、建設機械、環境・プラントの部門が減少。
- ・景気減速で景気変動に敏感な量産系事業を中心に減少。

### (2) 売上高

- ・前年同期比微増。
- ・機械コンポーネント、精密機械、建設機械の部門が増加。
- ・ラファート社のフル連結化(前年は2Q～連結化)も寄与。

### (3) 営業利益

- ・全ての部門で減少となり、前年同期比△20%減少。

単位：億円

	2018/上	2019/上	増減
受注高	4,614	4,186	△429
売上高	4,237	4,247	10
営業利益	341	272	△69
営業利益率	8.0%	6.4%	△1.6%
経常利益	330	258	△72
経常利益率	7.8%	6.1%	△1.7%
特別損益	△2	0	2
税金等調整前 当期純利益	328	258	△70
親会社株主純利益	214	164	△49
親会社株主利益率	5.0%	3.9%	△1.2%
為替レート(ドル)	¥111	¥108	△3

# 01 セグメント別営業利益

単位：億円

## ■ 対前期比較

### <機械コンポーネント>

市況低迷で中小型減速機、精密減速機の売上が減少したことにより減益。

### <精密機械>

プラスチック機械は売上減で減益。  
極低温冷凍機や半導体関連機種は堅調で増益も、セグメント合計では若干の減益。

### <建設機械>

油圧ショベルは売上増も鋼材価格上昇や為替の悪化などにより減益。

モバイルクレーンは売上増で増益も、セグメント合計では減益。

### <産業機械>

運搬機械は高採算機種が減少し減益。  
鍛造プレスや治療装置の売上減もありセグメント全体でも減益。

### <船舶>

造船市況の低迷長期化により減益。

### <環境・プラント>

売上減少や売上対象品の採算厳しく減益。

	2018/上	2019/上	増減
機械コンポーネント	44	34	△10
精密機械	77	75	△2
建設機械	131	118	△13
産業機械	30	20	△10
船舶	11	△14	△24
環境・プラント	36	28	△8
その他	12	11	△1
計	341	272	△69

## 01

## 営業利益増減分析

単位：億円



## 01

## 連結貸借対照表

単位：億円

	2019/3末	2019/9末	増減		2019/3末	2019/9末	増減
<b>流動資産</b>	<b>5,836</b>	<b>5,801</b>	<b>△35</b>	<b>負債</b>	<b>4,891</b>	<b>4,879</b>	<b>△12</b>
現預金	736	810	74	買掛債務	1,881	1,739	△142
売上債権	2,916	2,640	△275	有利子負債	733	806	73
たな卸資産	1,890	2,046	156	その他	2,277	2,334	57
その他	294	304	11				
<b>固定資産</b>	<b>3,705</b>	<b>3,767</b>	<b>63</b>	<b>純資産</b>	<b>4,650</b>	<b>4,689</b>	<b>39</b>
有形固定資産	2,483	2,564	81	株主資本	4,048	4,134	86
無形固定資産	651	603	△48	その他の包括利益 累計額	487	438	△50
投資その他の資産	571	600	29	非支配株主持分	115	118	2
<b>合計</b>	<b>9,541</b>	<b>9,568</b>	<b>27</b>	<b>合計</b>	<b>9,541</b>	<b>9,568</b>	<b>27</b>
				ネット有利子負債比率	△0.03%	△0.03%	
				自己資本比率	47.5%	47.8%	

単位：億円

	全社				油圧ショベル			
	2018年度第2四半期 (18.4-18.9)		2019年度第2四半期 (19.4-19.9)		2018年度第2四半期 (18.4-18.9)		2019年度第2四半期 (19.4-19.9)	
	売上高	(売上比率)	売上高	(売上比率)	売上高	(売上比率)	売上高	(売上比率)
北米	671	15.8%	686	16.2%	224	21.6%	227	21.6%
ヨーロッパ	497	11.7%	490	11.5%	76	7.3%	73	6.9%
アジア(除く 中国)	492	11.6%	417	9.8%	117	11.2%	88	8.3%
中国	504	11.9%	508	12.0%	278	26.7%	288	27.4%
その他	151	3.6%	139	3.3%	75	7.2%	57	5.4%
船舶海外	180	4.2%	137	3.2%				
日本	1,742	41.1%	1,869	44.0%	270	26.0%	320	30.5%
総売上高	4,237	100%	4,247	100%	1,039	100%	1,052	100%

※ 為替レート（ドル） 18年度第2四半期：¥111 19年度第2四半期：¥108



02

# 2019年度業績予想

# 02 2019年度業績予想

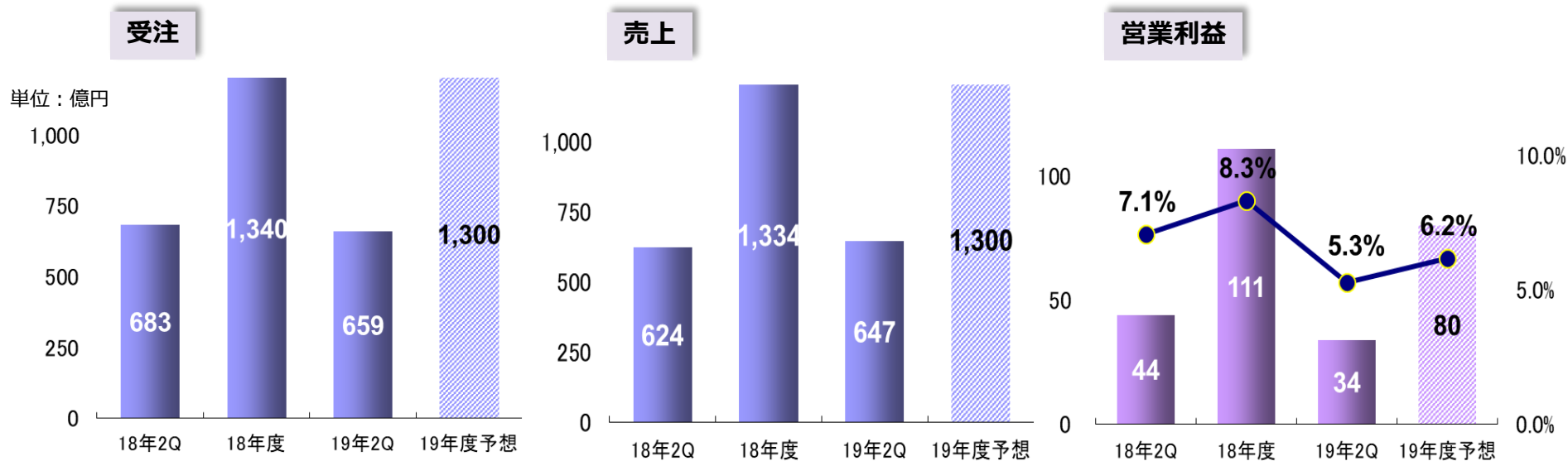
## ■景気減速の影響を受け通期予想を下方修正

単位：億円

	2018年上期 実績	2019年上期 実績	2018年度 実績	(参考)2019年度予想 (19年5月時点)	2019年度予想 (19年10月時点)
受注高	4,614	4,186	9,522	9,300	8,600
売上高	4,237	4,247	9,031	9,050	8,850
営業利益	341	272	752	720	600
営業利益率	8.0%	6.4%	8.3%	8.0%	6.8%
経常利益	330	258	726	690	570
経常利益率	7.8%	6.1%	8.0%	7.6%	6.4%
特別損益	△2	0	△56	△10	△10
親会社株主純利益	214	164	457	460	370
親会社株主利益率	5.0%	4.7%	5.1%	5.1%	4.2%
1株当たり配当	50円	56円	112円	112円	91円
配当性向			30.1%	29.8%	30.1%
ROI C(税引後)			10.5%	9.2%	7.7%
【参考】ROE			10.3%	9.8%	8.0%
織込レート(ドル)	¥111 (実績)	¥108 (実績)	¥111 (実績)	¥110	¥105

## 02 機械コンポーネント

- 19上期：** 中小型の変減速機やロボット用精密減速機は全般的な需要減により受注が減少。一方、ラファート社を連結子会社化（前年2Q～連結化）したことや、受注残もあり売上は増加。
- 19年度：** 市況は国内、海外ともに引き続き厳しい想定。特に中小型の変減速機、ロボット用精密減速機で海外(輸出)が厳しい。ラファート社や新たに買収するインバーテック社との統合を進める。



# 02 精密機械

## <プラスチック機械>

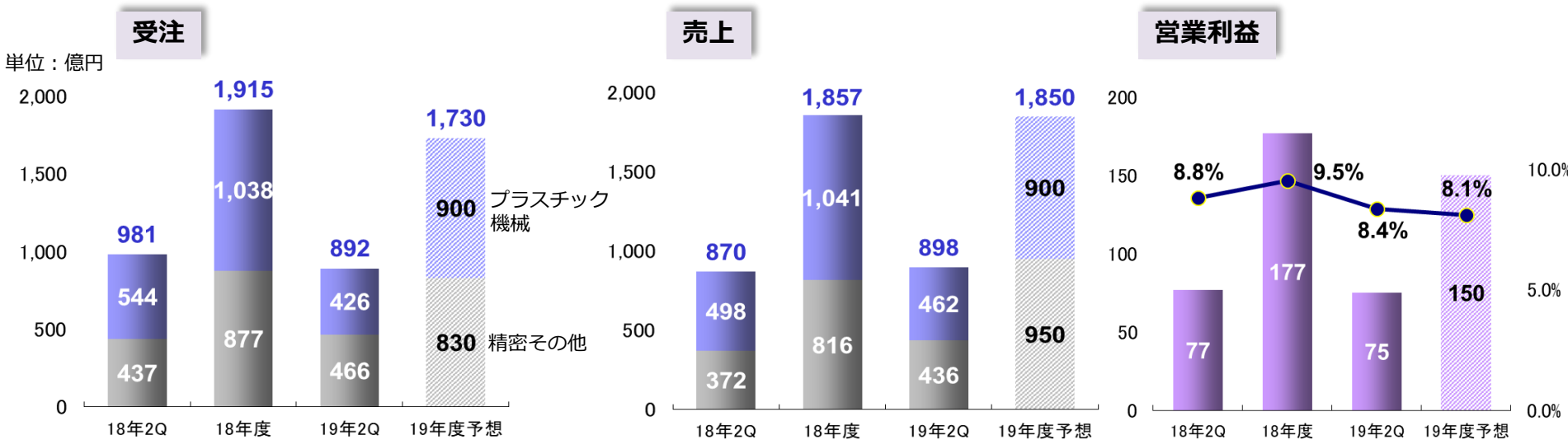
**19上期：** 中国の電気電子関連や、国内及び欧州の需要が減少したことから受注、売上ともに減少。

**19年度：** 市況は引き続き厳しい想定。

## <精密その他>

**19上期：** 極低温冷凍機や一部の半導体関連機種が堅調に推移したことから受注、売上ともに増加。

**19年度：** 極低温冷凍機、半導体関連機種ともに引き続き堅調に推移する見込み。



# 02 建設機械

## <油圧ショベル>

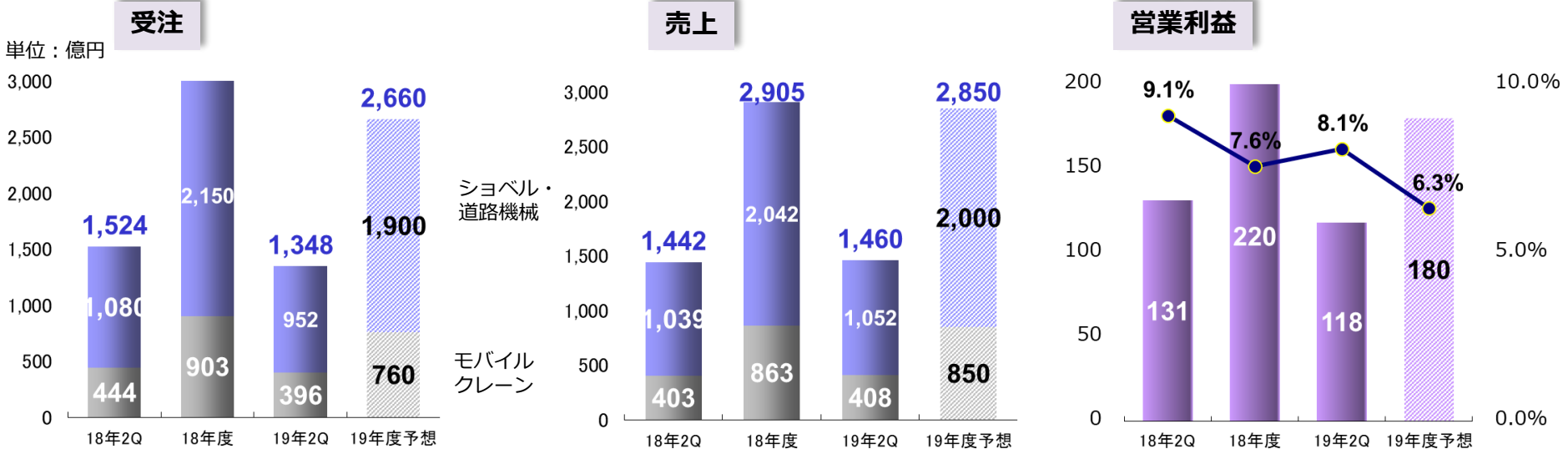
**19上期：** アセアン地域の需要が低下したことなどから受注は減少。一方、国内向けに受注残があったことなどから売上は増加。

**19年度：** 市況はまだら模様で国内、北米は引き続き堅調。一方、アセアン地域に加え中国も需要減の想定。

## <モバイルクレーン>

**19上期：** 国内や北米の需要が減少したことなどから受注は減少。一方、受注残があったことから売上は増加。

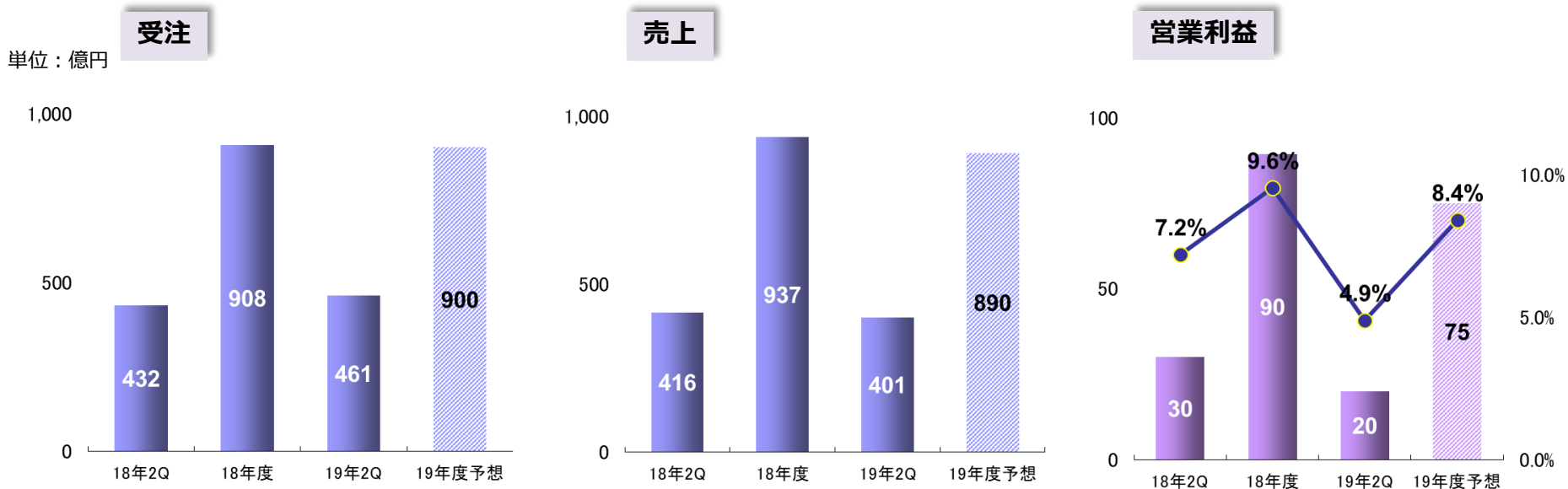
**19年度：** 国内需要はやや下降線、北米も下降線で受注は減少。一方、受注残があることから売上は前年並みの見通し。



# 02 産業機械

**19上期：** 運搬機械事業は、電力、港湾向け需要が堅調であったことや、物流システム、駐車場システムも堅調であったことから受注、売上ともに増加。その他産業機械事業は、産業用タービンの増加で受注は増加。一方、受注残の減少により売上は減少。

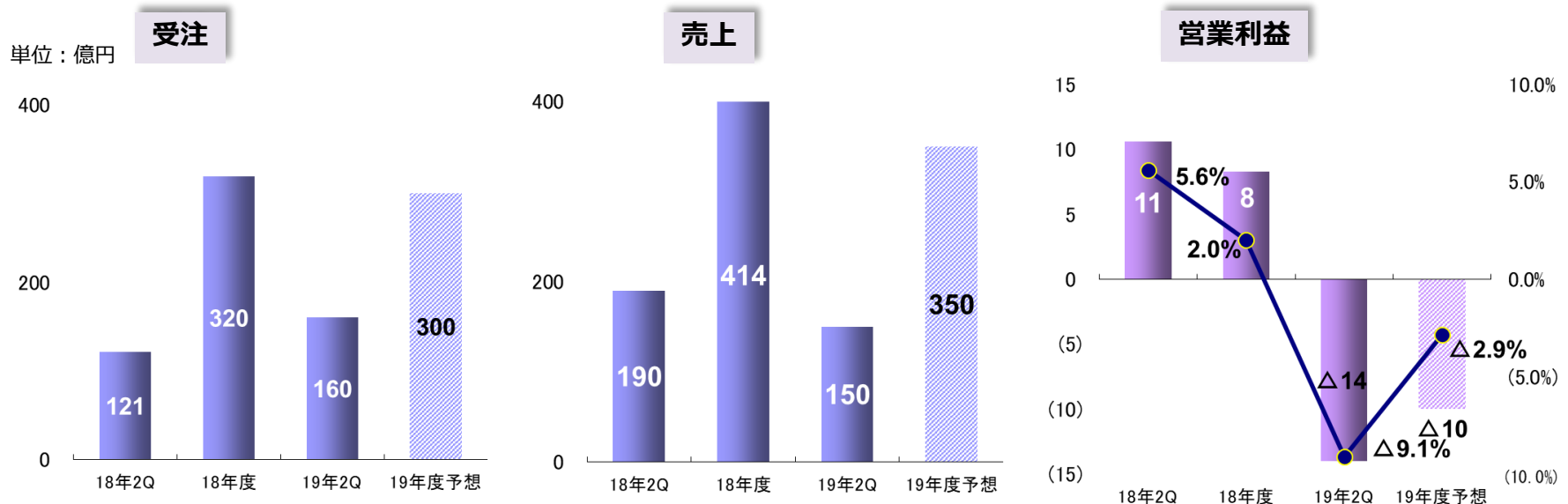
**19年度：** 運搬機械、産業用タービンは概ね堅調に推移する見込み。一方、鍛造プレスは市況要因もあり厳しい想定。



# 02 船舶

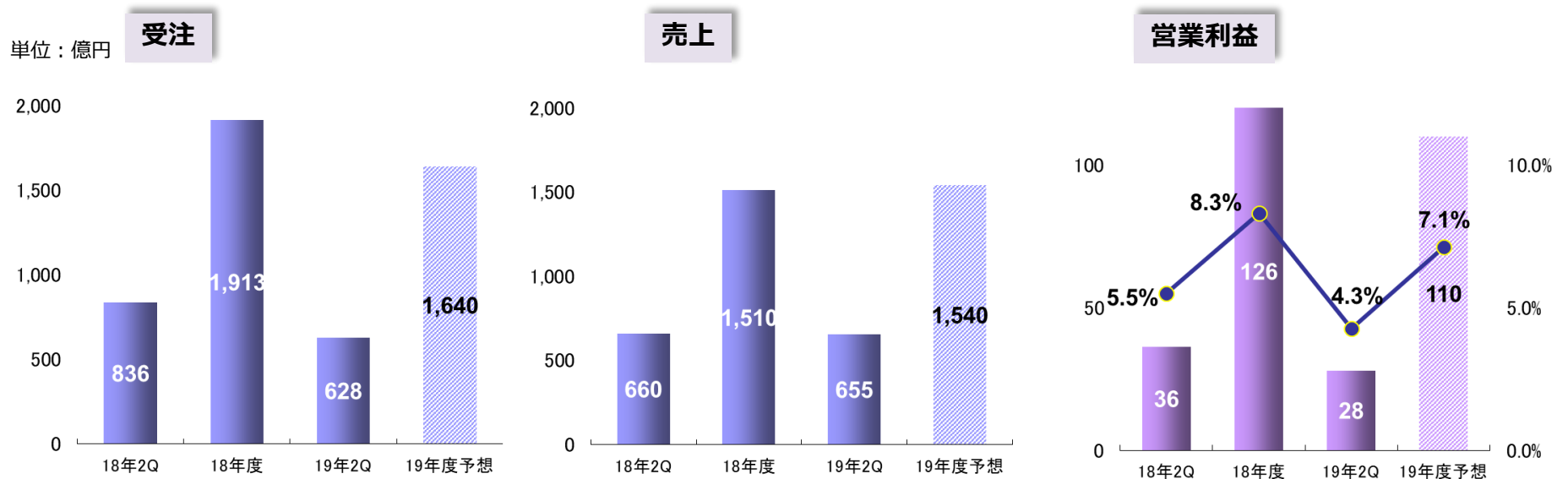
**19上期：** 船舶市況は引き続き低迷、前年同期は新造船の受注はなかったが、今期は1隻受注。船価の低迷、修理船の売上減により損益は赤字。引き渡しは、前年同期2隻に対して当期は1隻。

**19年度：** 市況低迷が長期化するが、年3隻の受注を見込む。引渡しは4隻、損益は赤字の見込み。



# 02 環境・プラント

- 19上期：** エネルギープラント事業は、バイオマス発電設備の大型案件が前年同期に比べ減少したことなどから受注、売上ともに減少。水処理プラント事業は、排水処理装置の大型案件が前年同期に比べて減少したことなどから受注は減少も、受注残があり売上は増加。
- 19年度：** エネルギープラント事業、水処理プラント事業ともに国内市況は堅調に推移する見通しだが、大型受注案件は前年比減少。





# 02 2019年度セグメント別業績予想まとめ

単位：億円

		2018年上期 実績		2019年上期 実績		2018年度 実績		(参考)2019年度 予想(19年5月時点)		2019年度予想 (19年10月時点)	
機械コン ポーネント	受注高	683		659		1,342		1,350		1,300	
	売上高	624		647		1,334		1,350		1,300	
	営業利益	44	7.1%	34	5.3%	111	8.3%	110	8.1%	80	6.2%
精密機械	受注高	981		892		1,916		1,800		1,730	
	売上高	870		898		1,857		1,860		1,850	
	営業利益	77	8.8%	75	8.4%	177	9.5%	180	9.7%	150	8.1%
建設機械	受注高	1,524		1,348		3,053		2,850		2,660	
	売上高	1,442		1,460		2,905		2,920		2,850	
	営業利益	131	9.1%	118	8.1%	220	7.6%	215	7.4%	180	6.3%
産業機械	受注高	432		461		908		940		900	
	売上高	416		401		937		910		890	
	営業利益	30	7.2%	20	4.9%	90	9.5%	80	8.8%	75	8.4%
船舶	受注高	121		160		320		370		300	
	売上高	190		150		414		340		350	
	営業利益	11	5.6%	△14	△9.1%	8	2.0%	0	0.0%	△10	△2.9%
環境・ プラント	受注高	836		628		1,913		1,920		1,640	
	売上高	660		655		1,510		1,600		1,540	
	営業利益	36	5.5%	28	4.3%	126	8.3%	120	7.5%	110	7.1%
その他	受注高	37		38		73		70		70	
	売上高	34		37		73		70		70	
	営業利益	12		11		22		15		15	
合計	受注高	4,614		4,186		9,522		9,300		8,600	
	売上高	4,237		4,247		9,031		9,050		8,850	
	営業利益	341	8.0%	272	6.4%	752	8.3%	720	8.0%	600	6.8%

# 03

## 「中期経営計画2019」進捗

# 03 「中計19」進捗まとめ

	「中計」19目標	2017年度 実績	2018年度 実績	2019年度 予想
数 値 目 標	売上高：8,000億円（2019年度）	7,910億円	9,031億円	8,850億円
	営業利益率：7.5%（＼）	8.8% （699億円）	8.3% （752億円）	6.8% （600億円）
	ROIC：7.5%以上（＼）	10.3%	10.2%	7.7%
配当性向：30%レベル維持		30.1%	30.1%	30.1%
設備投資：800億円（3カ年）		1,290億円（3カ年）		
		360億円	410億円	520億円
研究開発：520億円（3カ年）		581億円（3カ年）		
		167億円	186億円	228億円

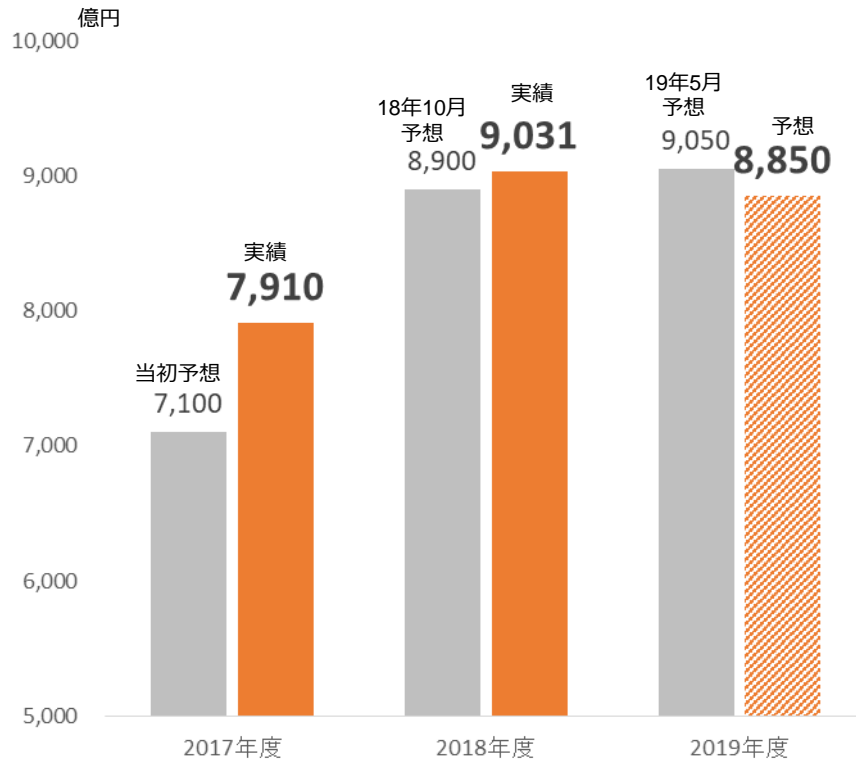
# 03 「中計19」課題達成状況（3カ年累計）

実施状況	課 題
計画過達	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 買収や市況好転（17、18年度）による事業規模の拡大、海外における事業の伸長</li> <li>・ 積極的な設備投資、研究開発投資、M &amp; Aの実施 成長 &amp; 高収益事業で重点的に実施</li> <li>・ サービス事業伸長並びに連結業績への貢献</li> </ul>
計画通り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ CSR活動（従来のCSRやCSV）への取り組み</li> <li>・ PMIの進捗</li> </ul>
計画未達 (継続課題)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 財務目標は18年度で達成も、19年度における収益性の低下</li> <li>・ 業務品質問題（不適正な検査）の発生</li> </ul>

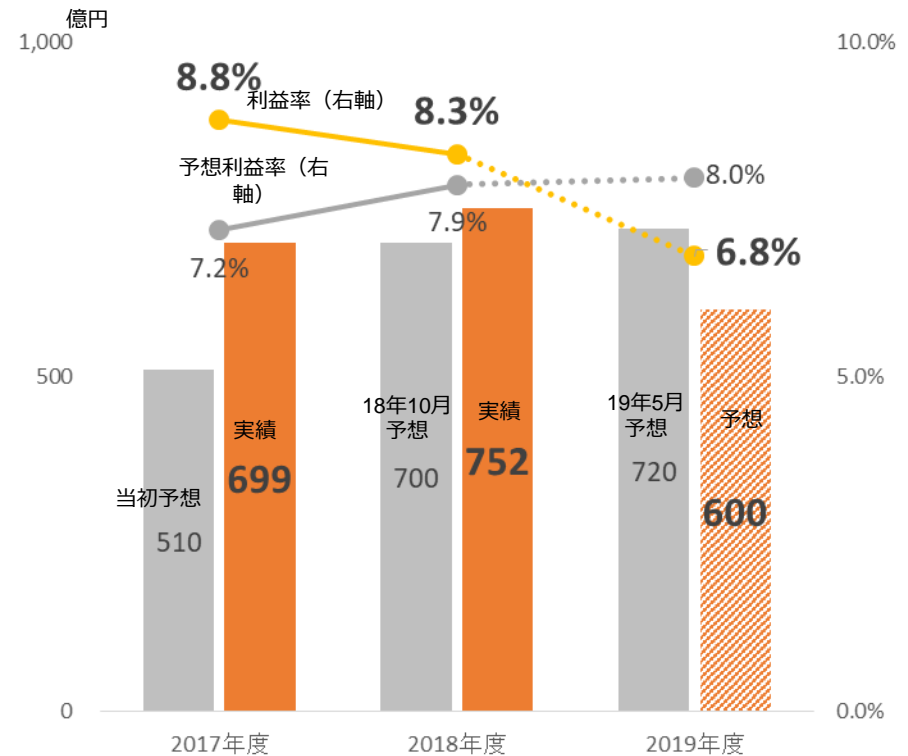
# 03 「中計19」進捗

- 19年度に入り景気の不透明感が強まり期初予想を下方修正。
- 「高収益への反転」に向けての施策実行に注力し、次期中計につなげる。

## 売上



## 営業利益&利益率



# 03 「中計19」進捗 <積極的なM&A>

## ■ イギリス・インバーテック社の買収（2019年11月上旬完了予定）

### <目的>

- ・ 制御製品（インバータ）に関する技術と生産拠点を獲得
- ・ ラファート社のモータ製品とともに、ギヤ、モータ、制御製品を一体として提供できる体制を構築
- ・ IoT、自動化・省人化、省エネなど、より高度な市場ニーズに対応



インバーテック社のインバーター

8 働きがいも  
経済成長も



9 産業と技術革新の  
基盤をつくろう



## 03

## 「中計19」進捗状況

## ＜新規連結会社の状況＞

単位：億円

セグメント	新規連結会社	19年度上期実績		19年度見込	
		受注高	売上高	受注高	売上高
機械コンポ	ラファート社	110	104	200	200
精密機械	パーシモン・テクノロジーズ社	6	5	15	15
建設機械	住友重機械建機クレーン (HSC)	173	190	380	400
環境・ プラント	Sumitomo SHI FW (SFW)	116	192	350	370

# 03 「中計19」進捗 <アフター・マーケットビジネス強化>

減速機サービステクニカルセンター  
開設 @名古屋 (2018年6月)

米国LBX社 カスタマー・エクスペリエンス  
・センター開設 @ケンタッキー (2019年6月)

減速機サービス会社SIT社を傘下に  
@スペイン (2018年12月)



イオン注入装置の  
サービス拠点設立  
@上海 (2017年7月)

がん治療装置等の  
サービス拠点設立  
@台湾 (2018年11月)



減速機の組立工場開設  
@メキシコ (2019年4月)

8 働きがいも  
経済成長も



9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう



減速機のサービス拠点開設  
@オーストラリア (2018年12月)



# 03 「中計19」進捗 <CSRの積極推進>

	2019年度上期の実績	課題
商品・サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>累計18部門と対話 CSR方針（ミッション、指標）の設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業部門との対話を総括し、 当社グループのマテリアリティづくりへ</li> </ul>
環境（E）	<ul style="list-style-type: none"> <li>統一認証取得による事業活動との融合 （方針周知、レベル底上げ、費用削減）</li> <li>CO2排出量（生産時）の第三者機関 認証によるデータの信頼性向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「環境配慮型商品」の拡大 （環境性能の一層の向上）</li> <li>CO2排出量（商品使用時） データの信頼性向上</li> </ul>
社会（S）	<ul style="list-style-type: none"> <li>サプライチェーンCSR対象部門拡大</li> <li>在宅勤務制度（管理職）の開始、 テレワークデイズの参加</li> <li>健康管理システムの運用開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調達先の改善指導</li> <li>働き方改革の推進</li> <li>組織開発</li> <li>社員参加型健康増進活動の実施</li> </ul>
ガバナンス（G）	<ul style="list-style-type: none"> <li>株主との建設的な対話の継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社外取締役の増員の検討</li> </ul>
発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>統合報告書の発行</li> <li>社内CSRポータルサイト開設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>開示情報の増加</li> <li>ESGアナリスト・投資家との対話</li> </ul>



# 住友重機械工業株式会社

将来の業績に関する予想、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。したがって実際の業績は様々な要因の変化により、記載の予想、見通しとは異なる場合があります。